

2026年6月14日 聖霊降臨節第4主日礼拝次第

花の日・こどもの日全体主日礼拝

- 前奏 (黙想)  
招きの言葉 サムエル記上16章11～12節 (旧約453 ㊦)  
讃美歌 534(キリストの使者たちよ)  
主の祈り <A>(讃美歌93-5)  
詩編交読 詩32編1～7節(交読詩編37 ㊦)  
聖書 使徒言行録16章16～24節(新約245 ㊦)  
祈禱  
讃美歌 361(この世はみな)  
説教 「救われるためには」 田中雅弘牧師  
讃美歌 483(わが主イエよ)  
信仰告白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)  
献金  
讃美歌 88(こころに愛を)  
派遣祝福  
後奏 (黙想)  
報告  
※讃美歌は原則として全節を歌います

聖書 使徒言行録16章16～24節

パウロたち、投獄される

16わたしたちは、祈りの場所に行く途中、占いの霊に取りつかれている女奴隷に出会った。この女は、占いをして主人たちに多くの利益を得させていた。17彼女は、パウロやわたしたちの後ろについて来てこう叫ぶのであった。「この人たちは、いと高き神の僕で、皆さんに救いの道を宣べ伝えているのです。」18彼女がこんなことを幾日も繰り返すので、パウロはたまりかねて振り向き、その霊に言った。「イエス・キリストの名によって命じる。この女から出て行け。」すると即座に、霊が彼女から出て行った。19ところが、この女の主人たちは、金もうけの望みがなくなってしまったことを知り、パウロとシラスを捕らえ、役人に引き渡すために広場へ引き立てて行った。20そして、二人を高官たちに引き渡してこう言った。「この者たちはユダヤ人で、わたしたちの町を混乱させております。21ローマ帝国の市民であるわたしたちが受け入れることも、実行することも許されない風習を宣伝しております。」22群衆も一緒になって二人を責め立てたので、高官たちは二人の衣服をはぎ取り、「鞭で打て」と命じた。23そして、何度も鞭で打ってから二人を牢に投げ込み、看守に厳重に見張るように命じた。24この命令を受けた看守は、二人をいちばん奥の牢に入れて、足には木の足枷をはめておいた。

主の祈りA(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

讚美歌534番

- 1 キリストの使者たちよ、  
罪と死の世に向かい、  
よい知らせ 宣べつたえ  
ととのえよ、主の道を。
- 2 砂漠にも荒れ野にも、  
さかまく荒海にも、  
信仰をもってたくましく  
拓きゆけ、主の道を。
- 3 よこしまはなおのこり、  
悪のやみ深くても、  
み言葉にみちびかれ、  
進みゆけ、主の道を。
- 4 主の民は強められ、  
約束は果たされて、  
平和の主の勝利の日、  
ほめうたえ、み栄えを。

讚美歌361番

- 1 この世はみな 神の世界、  
あめつちすべてが 歌い交わす。  
岩も木々も 空も海も  
み神のみわざを ほめたたえる。
- 2 この世はみな 神の世界、  
鳥の音、花の香 主をたたえる。  
朝日、夕日 空に映えて  
み神のみわざを 語り告げる。
- 3 この世はみな 神の世界、  
悪魔の力が 世に満ちても、  
わが心に 迷いはなし。  
主こそがこの世を治められる。

讚美歌88番

心に愛を 豊かにみだし  
日ごとのわざに つかわしたまえ

讚美歌483番

- 1 わが主イエスよ ひたすら  
祈り求む 愛をば  
増させたまえ 主を愛する  
愛をば 愛をば
- 2 世のよろこび たのしみ  
求めたりし 身なれど  
今はねがう 主を愛する  
愛をば 愛をば
- 3 きたれ きたれ 苦しみ  
憂き 悩みも いとわじ  
いさみ歌わん 主を愛する  
愛をば 愛をば
- 4 いまわの息 かすかに  
残るときも 愛をば  
増させたまえ 主を愛する  
愛をば 愛をば